

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	市子ども科学体験教室 〔市子連フェスティバル〕	実施時期	11月30日
趣旨又は目的	子どもたちが科学体験教室・市子連フェスティバルを通して、科学遊びやモノづくりの楽しさを味わうとともに、科学に対する興味関心を高め、物事に意欲的に取り組む子供の育成を図る。		
参加者	阿久根市内に居住する未就学児や小・中学生と保護者		
活動概要	かず先生による「サイエンスショー」「科学体験教室」を実施しながら、子ども会でもジュニアリーダーB AMB Iに運営に関わってもらいながら、スライムづくり、リースづくりなどブースを設営し創作活動を行う。		
活動写真 [説明]	 【かず先生のサイエンスショー】  【創作スペース】  【スライム・バスボム作り】  【リース・ツリー作り】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	あくねっ子遊々クラブ 〔市子ども会育成連絡協議会〕	実施時期	11月30日
趣旨又は目的	集団の中での体験活動や創作活動を通して、自主性や協調性、リーダー性を育み、心身ともにたくましく、思いやりの心をもった「あくねっ子」の育成を目指す。		
参加者	阿久根市内の小学生4年生～中学校2年生（子ども会未加入の子どもも可）		
活動概要	鹿児島県立青少年研修センターにおいて、体験活動（雨天時はレクリエーション2）及び創作活動（昆虫クラフト）を行う。		
活動写真 [説明]	   【昆虫クラフト】 【レクリエーション】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	山下ふれあい学習塾 〔山下小学校〕	実施時期	11月1日
趣旨又は目的	○ 地域の方に昔の遊びや遊び道具の作り方などを教えてもらうことで、地域の方との触れ合い、交流を深める。 ○ 学校農園で育てたサツマイモを使った料理の仕方を地域の方から教えてもらい、昔から伝わる料理の調理法について学ぶ。		
参加者	山下小学校全児童 24名 長寿会の方々 9名		
活動概要	○ 1・2年生は、竹とんぼやあやとり、けん玉などの昔遊びを行った。 ○ 3・4年生は、グラウンドゴルフを行った。 ○ 6年生は、がねづくりを行った。 長寿会の方々とのふれあいを通して、郷土に伝わる料理を学んだり、交流を楽しんだりすることができた。		
活動写真 [説明]	 昔あそび  がね作り  グラウンドゴルフ		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（阿久根市）

事業名	芋菓子作り（家庭教育学級） 〔西目小学校〕	実施時期	11月5日
趣旨又は目的	生活科の時間に自分たちで植え付けから収穫までを行ったさつまいもを使い、お菓子作りに挑戦する活動を通して、親子一緒に「地産地消」や「食育」について学ぶとともに、学級生同士の親睦を深めることを目的として実施している。		
参加者	1年生児童及びその保護者，食生活改善推進員，市子ども保健課職員		
活動概要	1年生児童4名が食生活改善推進員の手ほどきを受けながら，保護者と一緒に芋菓子作りに挑戦する活動を行った。 児童及び保護者を含め，総勢13名で実施した。 【活動内容】 ○ さつまいもを使った簡単なおやつ作り（簡単スイートポテト） ○ 食育「クイズ！さつまいものひみつ」		
活動写真 [説明]	 さつまいもをゆでる  ゆでたさつまいもをつぶす  さつまいもをつぶしてペースト状にする  さつまいもクイズに挑戦		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	魚捌き体験学習 〔西目小学校〕	実施時期	11月9日
趣旨又は目的	地元産の魚を使った魚捌きや調理・試食等を通して、海の幸豊かな阿久根に対する郷土愛を育むとともに、地産地消についての理解や魚食普及（食育）を目的として実施している。 5年生親子のふれあいも目的の一つである。		
参加者	5年生児童と保護者、北さつま漁協関係者		
活動概要	5年生児童4名が北さつま漁協関係者や保護者の手ほどきを受けながら、魚捌きや魚を使った調理に挑戦する活動を行った。 児童及び保護者を含め、総勢12名ほどで実施した。地元産の魚を使ったおいしい料理が完成した。 【活動内容】 ○ 魚捌き体験（さば、きびなご、エビ） ○ 調理 ○ 試食 《メニュー》・さばのスタミナ唐揚げ ・きびなごの青のり唐揚げ ・エビフライ		
活動写真 〔説明〕	    北さつま漁協の方の手ほどきを受けながら、魚を捌いたりフライを揚げたりしました。最後は、親子でおいしくいただきました。		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（阿久根市）

事業名	高齢者とのふれあい活動 〔西目小学校〕	実施時期	11月6日
趣旨又は目的	地域に住む高齢者とのふれあいを通して、交流を深めるとともに高齢者の知恵や技術、知識にふれることを目的として実施している。		
参加者	全校児童及び地域の高齢者有志		
活動概要	全校児童が地域の高齢者有志の方々から手ほどきを受けながら、「昔の遊び」・「竹細工」・「わら細工」などに挑戦した。 全校児童及び高齢者有志の方々を含め、総勢50名ほどで実施した。 【活動内容】 1・2年生 ⇒ 昔の遊び（お手玉，おはじき，けん玉，あやとり，こままわしなど） 3・4年生 ⇒ 竹細工（ぶんぶんごま，水鉄砲など） 5・6年生 ⇒ わら細工（縄ない）		
活動写真 〔説明〕	 お手玉遊び体験中  ぶんぶんごま作り  作った水鉄砲：遠くまで水が飛ぶかな？  わらを使って縄ないに挑戦		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	郷土の方々と楽しく遊ぼう 〔大川小学校〕	実施時期	11月1日
趣旨又は目的	○ 郷土の方々(高齢者)と昔の遊びを通して楽しく交流を深めることによって、地域との連携・協力体制を整える。 ○ 交流を通してふれ合い、郷土の昔の様子を知ること、郷土に親しみ、愛着をもつ心を育てる。		
参加者	地域の高齢者		
活動概要	1 ふれ合い活動（3，4年生） ○ 昔遊び 2 ふれ合い給食（全校児童） ○ グループに分かれて給食及びサイコロトーク		
活動写真 〔説明〕	 【昔遊び(コマ回し・メンコ・竹とんぼ等)】  【ふれ合い給食】  【サイコロトーク】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（阿久根市）

事業名	① 講演会「家庭でできる性教育」 ② 情報モラル教室（授業参観） 〔阿久根中学校〕	実施時期	11月27日
趣旨又は目的	① 家庭における性教育（保護者の果たすべき役割や子供との向き合い方等）についての講演会を通して、家庭でできる性教育の在り方に関する知識と意識の向上を図る。 ② スマホ等によるSNSやインターネットの適切な利用方法について考え、正しい使い方等、情報モラル教育の推進を図る。		
参加者	① P T A保健体育部員及び教職員 50名 ② 全校生徒、教職員及び保護者 350名		
活動概要	① 講師に「にんしんSOSかごしま相談員」の下田智子氏（助産師）を招聘し、「家庭でできる性教育」と題して、保護者の果たすべき役割等について講演会を行った。現在の性教育の課題（学校での保健体育の授業内容やインターネット上での間違った性情報の氾濫等）や発達段階に応じた性教育の在り方、子供との向き合い方等についての実践を紹介していただいた。 ② 授業参観で全学級、情報モラル教室を実施した。1年生は「情報モラルと人権」、2年生は「SNS等の正しい利用法について」、3年生は「生成A I の使い方と注意点」について、学習した。授業を通して、「正しい知識の大切さ」と「自己管理能力を高めることの大切さ」について学ぶことができた。		
活動写真 〔説明〕	  【講演会の様子】   【情報モラル教室（授業参観）の様子】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 阿久根市 ）

事業名	郷中学習会 〔三笠中学校〕	実施時期	11月中旬
趣旨又は目的	○ 全校生徒に定期テストへ向けての意識付けを図り、全校生徒でテストを頑張ろうとする雰囲気をつくる。 ○ 先輩が後輩へ学習指導を行うことで、双方の学習意欲や自己肯定感を高める。		
参加者	全校生徒（124名）		
活動概要	年齢のグループで学習を行ない、助け合い学習に取り組む。		
活動写真 [説明]	 異年齢グループで学習に取り組む生徒と見守る職員  黒板を使用し他の生徒に教える生徒の様子		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 出 水 市 ）

事業名	すこやかな青少年を育む集い	実施時期	11月
趣旨又は目的	近年、急激な社会変化に伴う人々の価値観の多様化や核家族化、地域の人間関係の希薄化等により、家庭や地域の教育力のさらなる向上が重要視され、学校、家庭及び地域住民の相互連携協力が課題となっている。 そこで、学校、家庭及び地域住民その他青少年育成関係者が一堂に会し、それぞれの役割と責任を認識するとともに、人の子もわが子も将来を担う「出水の宝子」として心身ともにたくましく健やかに育てるために、指導者としての意識と資質を高める機会とし、家庭及び地域の教育力の向上を図ることを目的に、市青少年育成推進協議会、市子ども会育成連絡協議会、出水市PTA連絡協議会及び出水市教育委員会の4者共催で開催している。		
参加者	学校・PTA、青少協・子連関係者、自治会長、民生委員、その他一般参加者、子ども、ジュニアリーダークラブ会員 合計約300人		
活動概要	(1) 表彰（優良子ども会、青少年作文コンクール入賞者） (2) 青少年作文コンクール作品発表 (3) 活動事例発表 ① 荘上子ども会 ② 大川内地区青少年育成推進協議会 ③ PTA（東出水小学校・出水中学校） ④ 青少年交流事業（大韓民国・順天市）派遣団 (4) 記念講演 僧侶・南九州市教育委員会委員 海江田宗順氏 演題「子どもの目線にあわせた育成者の気付き」 ※ (4) 記念講演の際、子どもたちを対象に、子ども会大会（兵児リンピック）を実施した。		
活動写真 [説明]	 青少年作文コンクール最優秀賞 発表の様子  活動事例（PTA）発表の様子		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	青少年育成の日のつどい・子ども会大会	実施時期	10月19日
趣旨又は目的	郷土に住む子どもたちを守り育てることを目指す育成者が一堂に会し、活動発表や講演会を通して、育成活動の再認識を行い、連携を深め、次世代の青少年の健全育成活動の充実・振興を図る。		
参加者	青少年育成市民会議関係者、各地区青少年(健全)育成会関係者、地区コミュニティ協議会関係者、子ども会関係者、PTA関係者、学校関係者等 300名		
活動概要	- オープニング（川内南中学校吹奏楽部演奏） - 開会行事・表彰式（あいさつ運動ポスター・標語展最優秀作品表彰式） - 講演 講師：東川隆太郎 NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 - 青少年意見発表（少年の主張鹿児島県大会受賞者 2名） 「ありのままの自分で」 「先入観は可能を不可能にする」 - 子ども会活動発表（育英地区 鶴峯子ども会） - 青少年健全育成会活動発表（川内中央地区）		
活動写真 [説明]	 あいさつ運動ポスター・標語作品展 各学校からポスター76点、標語428点応募がありました。  講演 子どもたちに伝えたい薩摩川内市の歴史文化について話していただきました。  子ども会活動発表 育英地区鶴峯子ども会の活動について親子で発表していただきました。  青少年健全育成会活動発表 川内中央地区内の各小・中学校の青少年健全育成に関する取組の様子を紹介していただきました		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	可愛山陵清掃活動への参加 〔川内北中学校〕	実施時期	11月23日
趣旨又は目的	校区内のコミュニティセンターで年1回行われる「可愛山陵清掃活動」に参加させることで地域の方々との交流が深まり、中学生が地域の良さを再認識したり、地域の力になるなどしたりして、地域と一体となった青少年の育成を図る。		
参加者	教職員 …………… 6人 中学生 …………… 50人 地域住民 … 約150人 合計 …………… 約200人		
活動概要	○ 会場 新田神社及び亀山地区コミュニティセンター ○ 期日 令和6年11月23日 ○ 内容 年1回行われる可愛山陵清掃活動に参加し、地域の方々と一緒に清掃活動を行うとともに、清掃活動終了後、亀山コミュニティセンターへ移動し、花の苗植えを行った。また、豚汁やきなこ餅、フランクフルトをつくり、地域の方々と一緒に食べながら親睦を図った。		
活動写真 [説明]	可愛山陵の清掃活動   亀山コミュニティセンターでの体験活動   花の苗植え 豚汁ときなこ餅をいただきました。		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	地域貢献活動 ① 川内地区秋まつり ② 平佐西地区生涯学習フェア 〔川内中央地区青少年健全育成会〕	実施時期	10月20日
趣旨又は目的	青少年の地域行事への参加・参画を通して、地域への所属感を高め、地域に貢献しようとする心を育てることを目的に、地区コミュニティ協議会との連携を図り、本活動を企画した。		
参加者	① 生徒会役員 10名 ② 生徒会役員 4名		
活動概要	① 川内地区コミュニティ協議会主催の「川内地区秋まつり」の運営補助に生徒会役員を中心に10名の生徒が参加した。「ボンボンつり」の店舗を担当し、水風船の準備や運営・販売、後片付けまで運営スタッフとして活動した。 ② 平佐西地区コミュニティ協議会主催の「生涯学習フェア」に生徒会役員が参加し、一つのブースの運営を担当した。自分たちで、ハーバリウムやコースターなどを手作りし、地域の方々と触れ合いながら販売活動を行った。		
活動写真 [説明]	  【川内秋まつりでの活動のようす】  【平佐西地区生涯学習フェアのようす】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	親子ふれあい活動 〔入来地域青少年育成会〕	実施時期	11月9日
趣旨又は目的	親子ふれあい活動を通して、保護者と生徒との交流を深めることを目的とした。		
参加者	児童生徒．．． 36名 大人．．． 15名 計．．． 51名		
活動概要	3年生の保護者と生徒が一緒になって「もちつき」を行った。多くの保護者にも参加していただき、たくさんの交流を深める機会となった。		
活動写真 〔説明〕	    【3年生親子ふれあい（もちつき）の様子】		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	東郷もりあげ隊 〔東郷地区青少年健全育成会〕	実施時期	11月3日
趣旨又は目的	日頃お世話になっている東郷地域の方々に、東郷学園の児童生徒（5～9年生の希望登録者）が、地域のために活動する姿を見せることで、少しでも東郷地域の方々に元気と勇気を伝えることを目的としている。		
参加者	東郷ハロウィンまいり（児童生徒5人、職員3人）		
活動概要	藤川天神での「東郷ハロウィンまいり」イベントのお手伝いを頼まれた東郷もりあげ隊！5名の隊員が、スタンプラリーのチェックポイントを引き受けました。 「おまいりチケット」に「東」・「郷」のスタンプをしっかりと押して、お参りにご案内し、ゴール地点でプライズをお渡ししました。		
活動写真 [説明]	 第一チェックポイント「東」  第二チェックポイント「郷」  おまいり後のプライズ交換所  東郷ハロウィンまいり 東郷もりあげ隊		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	① 全校一斉道徳授業参観 ② 長寿会との交流給食 [上甕地域青少年健全育成会・中津小学校]	実施時期	11月1日 11月7日
趣旨又は目的	(1) 「命を大切にする心を育む日」の趣旨を具体化するために、「主として生命の関わり、主として人との関わり」のいずれかの視点で、全校一斉に全学級道徳の授業を公開する。 (2) 保護者・地域住民と共に心豊かな子供を育てるために、家庭や地域または学校はどうあればよいのか見直し、心の教育の重要性について認識を深め合う機会とする。 (3) 地域の長寿会の方との会食を通して、良きふれ合いの機会とする。		
参加者	保護者、地域の方々（長寿会の方々含む）		
活動概要	①「長寿会との交流給食」 自己紹介や質問をきっかけにして、4つのグループに分かれて一緒に給食を食べながら、自己紹介をしたり質問をしたり、長寿会の方々の子供の頃の話や当時の学校の様子を聞いたりして、ゆっくりふれ合う機会をもつことができた。 ②「全校一斉道徳授業参観」 生命を大切にし、思いやりのある心豊かな子供を育てるために、全学級で「主として生命の関わり」あるいは「主として人との関わり」についての授業を公開した。 授業を通して、保護者や地域の方々と心豊かな子供を育てるために、学校・家庭・地域がどうあればいいか、心の教育の大切さについて考えるよい機会となった。		
活動写真 [説明]	 全校一斉道徳授業参観  長寿会との交流給食		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	椿油搾り体験 〔下甕育成会〕	実施時期	10月
趣旨又は目的	地域の特色を生かした自然体験活動を通して、郷土の自然に親しむと共に、郷土の自然を大切にしようとする心情を育てる。また、世代ふれあい活動を推進し、地域における子供たちの「居場所づくり」を図る。		
参加者	長浜小学校1年生～4年生児童 学校職員 地域関係者		
活動概要	地域の方から、椿油の作り方を教わり、昔の製法である手搾り体験を行う。		
活動写真 〔説明〕	  ① 地域の方から椿油の搾り方を教わる。 ② 地域の方と一緒に、椿の実を割り細かく砕く。   ③ 砕いた実を蒸し搾る。 ④ 椿油の使い方を教わる		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 薩摩川内市 ）

事業名	鹿島太鼓伝承活動 〔鹿島地区青少年健全育成会〕	実施時期	11月1日
趣旨又は目的	鹿島太鼓保存会の御指導のもと、地域の芸能伝承活動に取り組んでいる。郷土を愛する心や郷土の伝統文化を誇りに思う心情を育むことをねらいとしている。 また、「鹿島小学習発表会」において、練習の成果を保護者・地域の方々の前で発表することで、地域の一員としての自覚を持ち、よりよい生き方や自己実現についても考える機会となっている。		
参加者	本校児童，保護者，地域の方々		
活動概要	学習発表会に合わせて、昨年度から全体練習を10月から集中して取り組み、今年度は計6回の練習を行った。学校では、2学期からパートごとの練習に取り組んでいる。 ウミネコ留学生が在籍する学校のため、太鼓を初めてたたく児童も多かったが、保存会指導者による「島立ちや鹿島を離れた後も、太鼓の音にのせて、郷土・鹿島を思い出してほしい」という熱い思いを込めた指導により、子どもたちもその思いに応えようと、毎回真剣な態度で練習に取り組んできた。 学習発表会では、保護者・地域の方々に参観していただき、子どもたちは、地域の一員として発表できたことに誇らしげな様子だった。		
活動写真 〔説明〕	【練習の様子】  【学習発表会での発表の様子】 		